

1

次の取引の仕訳を示しなさい。ただし、商品に関する勘定は3分法によること。

- 和歌山商店に委託販売のため、商品 560,000 (原価) を発送した。なお、発送に要した諸費用 14,000 は現金で支払った。
- 兵庫物産株式会社 (決算年/回) は、中間申告をおこない、前年度の法人税・住民税および事業税の合計額 1,800,000 の2分の1を小切手を振り出して納付した。
- 奈良商店から商品代金として裏書譲渡されていた北東商店振り出しの約束手形 490,000 が不渡りとなったので、奈良商店に償還請求した。なお、償還請求に要した諸費用 2,000 を現金で支払った。
- 取得原価 2,000,000 の業務用コンピュータを 580,000 で売却し、代金は月末に受け取ることにした。なお、このコンピュータの帳簿価額は 800,000 であり、これまでの減価償却高は備品減価償却累計額勘定を用いて間接法で記帳している。
- 鳥取商店の支店は、本店から送付された商品 37,000 (原価) が品違いであったので本店に返品した。(支店の仕訳)
- 滋賀商事株式会社は、発行している次の社債について、半年分の利息を小切手を振り出して支払った。
額面総額 70,000,000 利 率 年 2% 利 払 い 年 2回
- 京都商事株式会社は、株主総会において、繰越利益剰余金を次のとおり配当および処分することを決議した。ただし、繰越利益剰余金勘定の貸方残高は 3,160,000 である。
利益準備金 240,000 配 当 金 2,400,000 別途積立金 320,000

2

次の取引を特殊仕訳帳としての当座預金出納帳に記入し、総勘定元帳と売掛金元帳・買掛金元帳に転記しなさい。

- ただし、
- 総勘定元帳への転記は、特殊仕訳帳から直接おこなうこと。
 - 特殊仕訳帳は、月末に締め切るものとする。
 - すでに記入してある取引も転記すること。
 - 総勘定元帳・売掛金元帳・買掛金元帳の記入は、日付と金額を示せばよい。
 - ほかに特殊仕訳帳として、現金出納帳・仕入帳・売上帳を用いている。

取 引

- 1月/6日 広島商店に対する売掛金 400,000 が、当座預金に振り込まれたとの連絡を取引銀行から受けた。
23日 岡山商店に商品 390,000 を売り渡し、代金は同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。
29日 鳥根商店あてに振り出していた約束手形 180,000 が、本日、支払期日となり当座預金から支払われたとの連絡を取引銀行から受けた。

3

次の各問いに答えなさい。

- (1) 近畿商店 (個人企業) の下記の勘定と資料によって、次の金額を計算しなさい。

- a. 仕 入 高 b. 期首の買掛金

損 益			資 料		
12/31 仕 入	5,200,000	12/31 売 上	6,420,000	資産および負債	
" 給 料	840,000			(期 首)	(期 末)
" 減価償却費	70,000			現 金	370,000 585,000
" 雑 費	38,000			売 掛 金	540,000 727,000
" 資 本 金 ()				商 品	480,000
	6,420,000		6,420,000	備 品	560,000 490,000
				買 掛 金	610,000
資 本 金					
12/31 引 出 金	30,000	1/1 前期繰越 ()			
" 次期繰越	1,692,000	6/30 現 金	100,000		
	1,722,000	12/31 () ()			
			1,722,000		

- (2) 中国商店 (個人企業) の平成○年/2月3/日における本店および支店の下記の資料によって、次の金額を計算しなさい。

- a. 支店勘定残高・本店勘定残高の一致額 b. 本支店合併の買掛金 c. 本支店合併の売上総利益

資 料

- i 元帳勘定残高 (一部)

	本 店	支 店
繰 越 商 品	400,000	260,000
買 掛 金	850,000	620,000
支 店	460,000 (借 方)	
本 店		300,000 (貸 方)
売 上	5,380,000	3,060,000
仕 入	4,100,000	2,240,000

- ii 決算整理事項 (一部)

期末商品棚卸高	本店 520,000	支店 170,000 (未達商品は含まれていない。)
---------	------------	----------------------------

- iii 未 達 事 項

- 本店から支店に発送した商品 80,000 (原価) が、支店に未達である。
- 本店で支店の買掛金 100,000 を支払ったが、この通知が支店に未達である。
- 支店で本店受取分の利息 30,000 を受け取ったが、この通知が本店に未達である。

- 4 大阪商店の5月25日の略式の伝票から、仕訳集計表（日計表）を作成しなさい。ただし、次の取引について、必要な伝票に記入したうえで集計すること。なお、仕入・売上の各取引については、代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法によっている。

取 引

5月25日 池田商店から商品 330,000 を仕入れ、代金のうち 140,000 は現金で支払い、残額は掛けとした。

<u>入金伝票</u>	
当座預金	207,000
売掛金	216,000
受取手数料	18,000
売掛金	154,000
() ()	

<u>出金伝票</u>	
当座預金	96,000
買掛金	185,000
消耗品費	21,000
買掛金	147,000
() ()	

<u>売上伝票</u>	
茨木商店	518,000
吹田商店(戻り)	17,000
堺商店	472,000
豊中商店	396,000
() ()	

<u>振替伝票(借方)</u>	<u>振替伝票(貸方)</u>
買掛金 245,000	当座預金 245,000
消耗品費 25,000	当座預金 25,000
買掛金 136,000	支払手形 136,000
当座預金 385,000	受取手形 385,000
受取手形 410,000	売掛金 410,000
() ()	() ()

<u>仕入伝票</u>	
和泉商店	295,000
摂津商店	301,000
岸和田商店	78,000
藤井寺商店	151,000
貝塚商店(値引)	19,000
() ()	

- 5 関西商店（個人企業 決算年/回 /2月3/日）の総勘定元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項は、次のとおりであった。
- よって、
- 付記事項の仕訳を示しなさい。
 - 決算整理仕訳を示しなさい。ただし、繰り延べおよび見越しの勘定を用いること。
 - 損益計算書（2区分）および貸借対照表を完成しなさい。

元帳勘定残高

現金 681,000	当座預金 2,715,000	受取手形 1,500,000
売掛金 2,430,000	貸倒引当金 80,000	有価証券 1,900,000
繰越商品 1,560,000	貸付金 1,600,000	備品 1,800,000
備品減価償却累計額 900,000	支払手形 1,400,000	買掛金 2,159,000
従業員預り金 250,000	仮受金 130,000	資本金 8,000,000
売上 17,853,000	受取手数料 184,000	仕入 13,480,000
給料 2,091,000	支払家賃 720,000	保険料 330,000
消耗品費 64,000	雑費 85,000	

付記事項

- ① 仮受金 130,000 は宇治商店からの売掛金の回収であることがわかった。

決算整理事項

- 期末商品棚卸高 1,380,000
- 貸倒引当金 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ5%とする。ただし、貸倒引当金の残高は全額戻し入れること。
- 備品減価償却高 225,000
- 有価証券評価高 有価証券は、売買を目的として保有する舞鶴商事株式会社の株式20株（帳簿価額 @ 95,000）であり、1株につき 98,000 に評価替える。
- 消耗品未使用高 24,000
- 保険料前払高 保険料のうち 180,000 は、本年1/月/日に1年分を支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。
- 利息未収高 12,000

1

	借 方	貸 方
a		
b		
c		
d		
e		
f		
g		

2

当座預金出納帳

2

平成 〇年	勘定科目	摘 要	元 子	売掛金	諸 口	平成 〇年	勘定科目	摘 要	元 子	買掛金	諸 口
		前ページから		651,000	294,000			前ページから		478,000	329,000
							1/13 買掛金	山口商店		250,000	

総勘定元帳

当座預金		2
1/1 前期繰越	910,000	
支払手形		11
	1/1 前期繰越	430,000
売掛金元帳		
広島商店		1
1/1 前月繰越	590,000	

売掛金		4
1/1 前期繰越	1,580,000	
買掛金		12
	1/1 前期繰越	1,160,000
買掛金元帳		
山口商店		2
	1/1 前月繰越	340,000

3

(1)	a	仕 入 高	¥	b	期首の買掛金	¥
(2)	a	支店勘定残高・ 本店勘定残高の 一致額	¥	b	本支店合併の 買 掛 金	¥
	c	本支店合併の 売上総利益	¥			

試験場校	受験番号

2級の1得点

4

平成〇年5月25日

借	方	元	勘	定	科	目	元	貸	方
			現			金			
			当	座	預	金			
			受	取	手	形			
			売		掛	金			
			支	払	手	形			
			買		掛	金			
			売			上			
			受	取	手	数	料		
			仕				入		
			消	耗	品	費			

5

	借 方	貸 方
①		

	借方	貸方
a		
b		
c		

	借方	貸方
d		
e		
f		
g		

費 用	金 額	収 益	金 額
期首商品棚卸高		売 上 高	
仕 入 高		期末商品棚卸高	
売 上 総 利 益			
給 料		()	
()		受 取 手 数 料	
()		受 取 利 息	
支 払 家 賃		()	
保 険 料		貸倒引当金戻入	
消 耗 品 費			
雑 費			
()			

関西商店 平成〇年/2月3/日

資 産	金 額	負債および純資産	金 額
現 金		支 払 手 形	
当 座 預 金		買 掛 金	
受 取 手 形 ()		()	
貸 倒 引 当 金 ()		資 本 金	
売 掛 金 ()		()	
貸 倒 引 当 金 ()			
有 価 証 券			
商 品			
()			
貸 付 金			
()			
()			
備 品 ()			
減価償却累計額 ()			

試 験 場 校	受 験 番 号

2級の2得点

總 得 点

1

	借 方	貸 方
a	積 送 品 574,000	仕 入 金 560,000 現 金 14,000
b	仮 払 法 人 税 等 900,000	当 座 預 金 900,000
c	不 渡 手 形 492,000	受 取 手 形 金 490,000 現 金 2,000
d	備品減価償却累計額 1,200,000 未 収 金 580,000 固 定 資 産 売 却 損 220,000	備 品 2,000,000
e	本 店 37,000	仕 入 37,000
f	社 債 利 息 700,000	当 座 預 金 700,000
g	繰 越 利 益 剰 余 金 2,960,000	利 益 準 備 金 240,000 未 払 配 当 金 2,400,000 別 途 積 立 金 320,000

2

当 座 預 金 出 納 帳

2

平成 〇年	勘定科目	摘 要	平	売 掛 金	諸 口	平成 〇年	勘定科目	摘 要	平	買 掛 金	諸 口
		前ページから		651,000	294,000			前ページから		478,000	329,000
1	16	売 掛 金 広島商店	売1	400,000		/	13	買 掛 金 山口商店	買2	250,000	
	23	売 上 岡山商店	✓		390,000	29	支 払 手 形 約手支払い	11			180,000
				1,051,000	684,000					728,000	509,000
	31		4		1,051,000	31			12		728,000
	"		2		1,735,000	"			2		1,237,000
		前月繰越	✓		910,000			次月繰越	✓		1,408,000
					2,645,000						2,645,000

総 勘 定 元 帳

当 座 預 金 2			
1/1	前期繰越	910,000	1/31 1,237,000
31		1,735,000	
支 払 手 形 11			
1/29		180,000	1/1 前期繰越 430,000
売 掛 金 元 帳 1			
広島商店			
1/1	前月繰越	590,000	1/16 400,000

売 掛 金 4			
1/1	前期繰越	1,580,000	1/31 1,051,000
買 掛 金 12			
1/31		728,000	1/1 前期繰越 1,160,000
買 掛 金 元 帳 2			
山口商店			
1/13		250,000	1/1 前月繰越 340,000

3

(1)	a	仕 入 高 ¥ 5,220,000	b	期 首 の 買 掛 金 ¥ 600,000
-----	---	----------------------	---	--------------------------

(2)	a	支店勘定残高・ 本店勘定残高 の 一 致 額 ¥ 490,000	b	本支店合併の 買 掛 金 ¥ 1,360,000	c	本支店合併の 売 上 総 利 益 ¥ 2,130,000
-----	---	---	---	--------------------------------	---	------------------------------------

4

仕 訳 集 計 表

平成○年5月25日

借 方	平 子	勘 定 科 目	平 子	貸 方
595,000		現 金		589,000
481,000		当 座 預 金		477,000
410,000		受 取 手 形		385,000
1,386,000		売 掛 金		797,000
		支 払 手 形		136,000
872,000		買 掛 金		1,155,000
17,000		売 上		1,386,000
		受 取 手 数 料		18,000
1,155,000		仕 入		19,000
46,000		消 耗 品 費		
4,962,000				4,962,000

5

(1)

	借 方	貸 方
①	仮 受 金 130,000	売 掛 金 130,000

(2)

	借 方	貸 方
a	仕 入 1,560,000 繰 越 商 品 1,380,000	繰 越 商 品 1,560,000 仕 入 1,380,000
b	貸 倒 引 当 金 80,000 貸 倒 償 却 190,000	貸 倒 引 当 金 戻 入 80,000 貸 倒 引 当 金 190,000
c	減 価 償 却 費 225,000	備 品 減 価 償 却 累 計 額 225,000

	借 方	貸 方
d	有 価 証 券 60,000	有 価 証 券 評 価 益 60,000
e	消 耗 品 24,000	消 耗 品 費 24,000
f	前 払 保 険 料 150,000	保 険 料 150,000
g	未 収 利 息 12,000	受 取 利 息 12,000

(3)

損 益 計 算 書

関西商店 平成○年/月/日から平成○年/2月3/日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
期首商品棚卸高	1,560,000	売 上 高	17,853,000
仕 入 高	13,480,000	期末商品棚卸高	1,380,000
売 上 総 利 益	4,193,000		
	19,233,000		19,233,000
給 料	2,091,000	(売上総利益)	4,193,000
(貸 倒 償 却)	190,000	受 取 手 数 料	184,000
(減 価 償 却 費)	225,000	受 取 利 息	12,000
支 払 家 賃	720,000	(有価証券評価益)	60,000
保 険 料	180,000	貸 倒 引 当 金 戻 入	80,000
消 耗 品 費	40,000		
雑 費	85,000		
(当期純利益)	998,000		
	4,529,000		4,529,000

貸 借 対 照 表

平成○年/2月3/日

資 産	金 額	負債および純資産	金 額
現 金	681,000	支 払 手 形	1,400,000
当 座 預 金	2,715,000	買 掛 金	2,159,000
受 取 手 形 (1,500,000)		(従業員預り金)	250,000
貸 倒 引 当 金 (75,000)	1,425,000	資 本 金	8,000,000
売 掛 金 (2,300,000)		(当期純利益)	998,000
貸 倒 引 当 金 (115,000)	2,185,000		
有 価 証 券	1,960,000		
商 品	1,380,000		
(消 耗 品)	24,000		
貸 付 金	1,600,000		
(前払保険料)	150,000		
(未収利息)	12,000		
備 品 (1,800,000)			
減価償却累計額 (1,125,000)	675,000		
	12,807,000		12,807,000

(貸倒償却は、貸倒引当金繰入でもよい。)